山れの所に宮をしらせ給ふ事をまの原に
見ことをかけ公をかしきまけいろちのうえ
ひろ所まゑ〻こゝれいと云て四月のよれ日成りて
おくふの御つゑさきあふひの所かけかつらの御
かけをもてきらめかさをもてかをのあるにあしとも
こゝ志そやまゝ云ろれらはなりの所にもち
あらひにいくさ成ひきいそあいとりにあれらる
をしまし海のかす
祝馬十馬　所い馬十馬　かい馬十馬　所いるする
禮馬十馬　所い馬十馬　かい馬十馬　所いるする
司馬十馬　所い馬十馬　かい馬十馬　所いるする
あ成らものゝあひくきいまて云ろ色のゆさ字
きいまを字をこのけらの名つさまり　みら
えらあまりいれるあまりいれるれいふ　ゝそ
ほとめあそまろゝをそいけてゝしかし
まして　ハ寸色らきの老からの所らいときい
かきまにゝのまゝりの日のまゝりにまゝりさい
まへあそまろゝりおりしましてもんふ百ゝまん
あめの云ふいらまそんにいふまゝりさいまへ
そまへこれまいそ中さくれいふゝそあそまろ
をしまるゝこれしまゝ世すゝ所まろさ世す
のまゝしをまへまゝりしろまゝりにまゝり
さいまへ　あまへ

まへあそまろゝりおりしましてもんふ百ゝまん
あらの云ふいらまそんにいふまゝりさいまへ
そまへこれまいそ中さくれいふゝそあそまろ
をしまるゝこれしまゝ世すゝ所まろさ世す
のまゝしをまへまゝりしろまゝりにまゝり
さいまへ　あまへ